

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むかわ町こども発達支援センター穂別きらり			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 9 月 10 日		～	R6年 10 月 11 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	R6年 9 月 1 日		～	R6年 9 月 27 日
○従業者評価有効回答数		2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和 6 年 9 月 10 日		～	R6年 10 月 11 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10 月 18 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問支援の様子を保護者に伝え、こども園での様子がよくわかると、とても喜ばれる。	・前回から成長している姿を具体的に伝えていっている。 ・先生方がどんな思いで接してくれているかまで説明するようにしている。	・保護者から家の様子を聞き、それをこども園の先生方にも伝えることで、こども園での保育で工夫できる点を検討するようにしていく。
2	・利用しているこども園に保育所等訪問支援に行き関わることで、その子のことをより深く、こども園の先生に知ってもらえる。	・きらり（当事業所）での様子、保護者から詳しく聞いているお家の様子を丁寧にこども園の先生方に伝えていく。色々な側面から、こどもさんについて理解してもらっている。	・こども園・きらり（当事業所）・家で見せる姿を総合的にとらえ、成長を促すために今できることを検討していく。
3	・専門の巡回相談などを利用し、支援アドバイスをもらっている。	・保護者の同意のもと、関係機関にも協力をいただき、巡回相談に参加していただくことで、今後の支援につなげる。	・巡回相談など、専門家のアドバイスをもらえる必要性を伝え、今後も相談できるように理解求め続ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・直接支援はいいのだが、間接支援としてカンファレンスの時間を設定するのが、迷惑かけようで、難しい。	・話したいことはたくさんあるのだが、時間的余裕がなく、限られた中で伝えなくてはならない。	・こども園の運営に困り感が生じないようにしながら、間接支援の時間を設定していく。
2	・保育所等訪問支援で直接支援、間接支援と全て終えてから、必ず親へ伝えている。親に伝えるのに、時間や場所を設定するのが難しい。	・保護者に訪問終了後、すぐに詳しく伝えていきたいのだが、時間をとってもらうのが難しい時がある。	・詳しく記録に残してあるので、すぐに伝えることは無理でも、保護者の方の都合に合わせて、話すことができるように設定していきたい。
3	・きらり（当事業所）の職員がこども園に行くことで、保育所等訪問支援を利用しているんだと特別に見られてしまうことが気になる。	・きらり（当事業所）の職員がこども園に行くことで、こども園の他の保護者からの視線が気になることがある。	・開かれた事業所になるように努力していきたい。